



高崎セントラルロータリークラブ

会長 / 三井田 賢一 幹事 / 水上 勝之 会報委員長 / 竹内 慎昌

2008.6.3

2007-2008 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは分かちあいの心

2007-2008 28号

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007-2008 クラブテーマ **ロータリーを磨こう、そして一歩向上しよう!**

■本日の例会 会長の日・6月の誕生会(会員・会員夫人合同)・委員長引継ぎ(クラブ協議会)

■次回例会予定 10日各委員長退任の挨拶

5月20日(火)高崎セントラルロータリークラブ例会報告



当日は、次年度委員長予定者会議でした。このコーナーでは前号でも載せました先日5月10日の地区協議会についてお知らせいたします。

◎ 富岡市生涯学習センターにおいて国際ロータリー第2840地区 地区協議会が次年度会長・幹事はじめ大勢の各委員長の参加のもと地区協議会が行われました。次年度ガバナー松倉紘洋君(富岡ロータリークラブ)のメッセージと地区目標をご紹介します。

ガバナーメッセージ～世界中の子供たちの夢をかたちに～
国際ロータリーの李東建(D.K.Lee)会長は「地球規模のボランティアネットワーク」としてロータリーを強調しています。「絶妙なタイミングで、ここぞという場所に、これぞという援助を提供することが出来る」と述べています。ただし「世界中のクラブが協力し合い、私たちが持てる技能と資材の全てを結集させるならば」という前置きがついています。

全会員がロータリーの理念に共鳴すれば、当然、協力し合うわけですから「ロータリーの理念を学ぶ」ことが全ての出発になると私は考えます。

そこで当地区の目標におきまして「ロータリーの基本を学び奉仕の理念に生きる喜びを感じよう」という項目を提示させていただきました。

李東建会長が「ここ数年継続してきた水、保健と飢餓、そして識字率の向上を本年度も続ける」という理由は、毎日3万人もの子供(5歳未満)が、死亡している現実を直視しているからにはほかなりません。発展途上地域において不衛生な環境と栄養失調が原因で、本来なら予防が可能なのに命を落としている子供たちの惨状を見ないふりをしているわけにはいかないのです。いつまでたっても極

貧の連鎖から抜けることが出来ないままにいる子供たちの環境を変えていかなければなりません。子供たちの多くは教育を受ける機会が無く、抑圧された状況から構造的に脱出できないでいるのです。

“夢をかたちにMake Dreams Real”というRIテーマは虐げられた状況にある「世界中の子供たちの夢をかたちに」ということだと受け止めます。ですから、今後3年間で1億ドルというポリオ・プラスの拠金チャレンジに私は強く協力を呼びかけたいと思います。

元来、ロータリーは例会を非常に大切にしてきました。例会が魅力あるクラブを支える基盤であります。その例会に於いて、全員で「世界中の子供たちの夢をかたちに」するためにどう活動していったらいいのか。十全なるご協力を頂きたいと存じます。それが魅力あるロータリアンの心と原点を深めていきたいと念願するものであります。

今日、私たちを取り巻く状況は多くの問題を抱えています。だからこそ、より一層、ロータリーの基本を一つひとつ共に学んで行く事を心から訴えたいのです。その上で、そこにおのずから開ける、奉仕の理想に生きる喜びをお互いに実感することを深く願っているものであります。

「世界中の子供たちの夢をかたちに」と願う会員は当然、子供や青少年のお手本でなければなりません。ロータリーの理念に従って、自分自身を律し、自らの職業のサービスレベルを高める社会の良識となることをご一緒に目指しましょう。

ガバナー 松倉 紘洋2008-2009年度第2840地区

■国際ロータリー第2840地区 47クラブ 2008-2009年度 地区目標(TARGET)

1. ロータリーの心と原点を大切にしよう。(地区運営方針2及び4参照)

- ①ロータリーの基本を学び奉仕の理想に生きる喜びを感じよう。
- ②自らの職業のサービスレベルを高め(職業奉仕)、社会に貢献しよう。

2. 魅力あるクラブ創りに邁進しよう。(地区運営方針1及び3参照)

- ①会員の満足度と例会の楽しさを深める為に創意工夫



- しよう。
 - ②新会員や女性会員が喜んで参画できるクラブ創りを目指そう。
 - ③地域に貢献できる奉仕活動をしよう。
3. 魅力あるロータリアンになろう。(地区運営方針2及び3参照)

- ①青少年のお手本となるようなロータリアンになろう。
 - ②ロータリーの活動を通じて自分自身を磨こう。
 - ③ロータリーの理想に共鳴する友人をクラブ内外に増やそう。
4. RI第3700地区(韓国 大邱市)との研究グループ交換(GSE)を成功させよう。

以上の目標をふまえ、世界中の子供たちの『夢をかたちにMakeDreamReal』(国際ロータリー年次テーマ)することに邁進しよう。

“水、保健と飢餓、識字率向上”に対する取り組みを継続し、困難な状況にある子供たちに支援の光を当てよう。そしてポリオ撲滅のための3年間チャレンジ拠金に協力しよう。

数値目標

- ①各クラブ会員増強目標:純増1名以上。
- ②ロータリー財団への寄付目標:1人100ドル以上。
- ③米山記念奨学会への寄付目標:1人15,000円以上。
- ④ポリオ・プラスのチャレンジ拠金:1人24ドル。

●『友』インターネット速報 2008年5月27日 NO.335

シェルターボックスとロータリアンが中国の被災地に到着
5月12日に発生した中国での大地震の被災者を支援するため、400個のシェルターボックスが被災地である四川省に届きます。この地震では5万人以上が死亡し、500万人以上がホームレスになっているとされ、現在、これとは別に400個が搬送されています。

このシェルターボックスは、世界中のロータリークラブが支援するイギリスを中心とした災害支援組織によって運営されており、各ボックスにはテントやコンロ、浄水キット、道具などが収められ、家族10人が半年間生活できるようになっています。中国政府の要請を受け、さらに1,700個のテントを供給するとともに、3人の専門チームが現地入りして支援活動を行っています。

また、被災地から900マイル(約1,450km)離れた北京ロータリークラブの会員たちは、地震の翌日に開かれた例会

で、会員から1,000ドル以上の寄付を集めるとともに、今後、被災地の支援策として、4,000ドル分のベビーフードの配給と義援金集めを計画しています。

■論語より■

子曰く、貧しくて怨むこと無きは難く、富みて驕ること無きは易し。
孔子が言われた。貧乏なのに「世の中に怨みを持たない」ことは、難しいことである。それに較べれば、金持ちなのに威張らないことの方が、やさしいといえようか。貧しいのは世の中がわるいからだ、つい怨むのが人情である。若い頃貧乏だった孔子の、人情の機微に通じた言葉である。世を怨むなどいっても、それは無理である。しかし、世を怨んでも何も解決はしない、自分が努力するしかない、こう孔子は言葉の裏で教えているのである。

※「声に出して活かした論語70」
三戸岡道夫より抜粋



ニコニコBOX

水上 勝之 君 もう一息です。
加藤 勝二 君 先日は家内の誕生祝有難うございました。
橋爪 良真 君 遅刻します。

■6月の例会予定

6月17日(火) 年度最終例会
24日(火) 休会(定款第5条第1節)

出席報告 (5月20日)

会員総数	35
出席計算会員数	32
当日出席者	24
会場出席率(%)	75.00

例会場・事務所 / 高崎ビューホテル 高崎市柳川町70
TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
例会 / 毎週火曜日 18時30分
E-mail:takasaki-cent@rid2840.jp